



ホンフサアンコウ *Chaunax fimbriatus* Hilgendorf

地方名：なし

特徴：口は大きく、ほぼ垂直に開く。体色は淡赤色で、小さい黄色斑が多数ある。誘引突起は短く、先端の擬餌状体は小さくて薄く、楕円形をしている。皮膚は柔らかく、表面に小さな棘があり、背部や体側部には密生する。体背面中央部と背びれ軟条部起部に大きい黄色斑がある。

分布：銚子以南、九州ーパラオ海嶺、東シナ海に分布。水深280～400m以浅に生息。

その他：フグ類のように水を飲み込み、体を膨らますことができる。全長40cm程度になる。食用としては利用されていない。

写真：石戸芳男氏(元東北水研)撮影

2000年4月27日に青森県階上町沖の定置網で漁獲。